



一中だより

学校教育目標
自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

「子どもたちの健やかな成長のために」

校長 岡島 一恵

春風爽やかな季節を迎え、歴史と伝統ある川越第一中学校は、本日171名の1年生を迎え、351名の生徒が進級し、44名の教職員と共に令和8年度をスタートさせました。

お子さまのご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

新たなスタート、出逢いの日である今日、生徒たちは、緊張と不安を抱えながらも、意欲と希望を胸に今年度を迎えたことと思います。そして、私たち教職員も生徒たちのその想いに応えられるよう、「熱意・誠意・創意」、そして深い愛情をもって、子供たち一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばし、「笑顔と活力あふれる学校」づくりのために、より一層一丸となり、日々の教育活動に全力で取り組んでいく決意を新たにいたしました。

今年度本校は80周年という節目を迎えます。1万8千795人の本校卒業生と支えてくださった保護者、地域の皆様が、紡ぎ、築いてきた歴史と伝統に敬意を表するとともに、繋がれたバトンをしっかりと次に繋いでいく責任を強く感じております。そして、川越第一中学校を更に発展させていく希望と意欲をもって、今年度も全ての教育活動において、子どもたちの心身共に健やかな成長のために、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」である「生きる力」を育み、本校の学校教育目標である「自主・練磨・敬愛」の達成を目指し、全力で教育活動を行ってまいります。

子どもたちの健やかな成長は、保護者・地域の方の願いでもあり、私ども教職員の願いでもあります。今年度も「学校・家庭・地域」が「双方向のコミュニケーション」を図り、「相互理解」のもと、「協働」して子供たちの育成のために取り組んでいきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、これまで以上のご理解、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～4月1日付けで教職員の人事異動がありました～

転出等職員

掲載は控えさせていただきます

お世話になりました

転入職員

よろしくお願ひします

掲載は控えさせていただきます

掲載は控えさせていただきます

令和8年度川越第一中学校スタッフ一同

入学式 式の言葉(抜粋)

171名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。川越第一中学校の先輩、教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。本校は今年度80年目を迎えます。皆さんは、この記念すべき年に、正に「歴史と伝統ある」川越第一中学校の一員となります。これから皆さんは、笑顔と活力あふれるこの川越第一中学校で、多くの学びや経験をとおして、皆さんの「よさ」をたくさん見つけ、伸ばしていきます。新しい学校生活には、希望もあるけれど、不安や戸惑うこともあるでしょう。でも、周囲には同じ入学生の間や導いてくれる先生、リードしてくれる先輩がいます。友達と競い合い、励まし合い、切磋琢磨することで、自分の人間性や能力を伸ばし、困っている友達がいたら手を差し伸べる思いやりの心も育てていってください。先生方からたくさん学び、迷ったらいつでも相談してください。そして、前を走る先輩たちに頑張っけて付いていってください。きっと、自分自身の経験から、優しく、丁寧に導いてくれると思います。それでは、皆さんのこれからの学校生活が実りある豊かなものとなるために、本校が大切にしている、そして身に付けたい「3つの力」についてお話します。一つ目は「自主」。自ら正しく判断し、よりよく行動する力です。大切なことは、「自ら」「判断」「行動」「表現」することができるようになるということです。学ぶ中には、間違えたり、失敗もあります。でも、その経験が必ず自分の力となり、今後の人生を支える土台となります。失敗や間違えることを恐れず、考えることを辞めず、意欲的に自ら行動できるようになってください。二つ目「練磨」。目標に向かって努力を惜みず、自ら鍛え伸ばす力です。「なりたい自分」になるためには、努力は必須です。そして、その努力を怠ることは、自分を信用せず、裏切ることになります。自分の一番のサポーターは自分自身であるべきです。自分を鍛えられるのは自分しかいません。三つ目「敬愛」。人を大切に、互いに尊敬しあえる、よりよい人間関係を築く力です。人は、人と人との繋がりの中で生きていきます。中学校生活では、そんな繋がりで生まれる多くの感動があります。他人の悪い点にはばかり目を向けるのではなく、「よさ」に気づき、異なる意見や考え方も大切に、共有する目標に向かって一緒に汗を流すことができる学年・学級であってほしいと思います。保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様の成長した姿を見て、子育ての喜びを改めて感じていらっしゃることに拝察いたします。本日より、私たち川越第一中学校の教職員は、皆様の大切な宝であるお子様を、川越第一中学校の大切な宝として、深い愛情と熱意をもって育ててまいります。そして、お子様一人一人の「よさ」を見付け、伸ばすために川越第一中学校教職員一同、「熱意・誠意・創意」をもって、全力で教育活動に邁進する覚悟でございます。川越第一中学校の教育活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。結びに、本日入学した171名の新入生の健やかな成長を心から願い、式の言葉といたします。

新しい学年、進級おめでとうございます。花々が咲き誇り春香る今日、川越第一中学校は、351名の皆さんが一つずつ進級し、この後行われる入学式で、新1年生171名を迎え、522名の仲間とスタートします。今日の日を迎えるにあたり、皆さんとの希望のスタートを切る為に、川越第一中学校教職員一同、懸命に準備してきました。準備登校の日の新2、3年生の清掃も、春休み中に特別に集合して行われた校歌歌い隊の生徒たちの練習も、これから新入生を迎える先輩として、とても立派でした。そして、それ以上に、先生方のここ一週間余りの熱意ある新年度へ向けての準備は、素晴らしい一言に尽きます。緊張感をもって、且つ意欲的に、楽しく準備をしてきました。この源は、やはり皆さんへの愛情以外他ならないのです。あなた方が今朝入った教室の詠いは勿論のこと、そこに至るまでには多くの人の手が携えられて今日の日があります。皆さんも、今日、希望とそして、不安もたくさん抱えて登校してきたことと思います。先生方も同じです。いや、もしかしたら、それ以上に希望と心配や不安も抱え、今日の日を迎えています。そんな先生方の気持ちも理解し、これからの日々を有意義で前向きなものにするかどうかは、あなた次第であり、一つずつ進級し、大人への階段を一段上がったあなた方だからこそ、できるはずだと期待しています。さて、笑顔と活力あふれる学校を目指し、新年度一学期のスタートにあたり、皆さんにお願いをしたいと思います。本校は今年度80年目を迎えます。皆さんには、この記念する年に、ここ川越第一中学校に在籍し、バトンをつなぐことになった意義を考えてほしいと思っています。川越第一中学校は、昭和22年終戦後の厳しい時代に郭町(川越第一小学校と併用)に誕生しました。そこから、途中場所をここ小山波に移し、80年という歳月をかけて、今まで約1万8千人の卒業生とその保護者、地域の方々を支えられ、川越第一中学校は、歴史と伝統を紡ぎ、築き上げられてきたのです。80年という歳月は、小さな苗木が、風雪に耐え、大地に深く根を張り、大きな大樹へと成長するほどの長い時間です。そんな長く、大切に築き上げられてきた歴史と伝統のバトンを私たちはこの記念すべき年に引き継ぐ役目を担うことになりました。確かに、80年でなくとも引き継ぐバトンの重さは変わりはありません。でも、この節目の年にここに居たからこそ、私たちはその歴史の重みを感じ、次へ引きつづこと、そして発展させていくことを認識する機会をいただけたと思っています。先ほど、この歴史を樹木で比喻しましたが、本校の歴史は樹木と似ていて、そして、引き継がれてきた「自主・練磨・敬愛」の精神そのものだと感じています。大樹の大きく深く張った根っこが、謂わば「自主」の支えであり、年月重ねた年輪の太い幹が、「練磨」の積み重ね、そして、枝葉に豊かに生い茂る葉が「敬愛」の精神のように感じます。この大きく育った大樹に自主の精神で主体性をもって道を切り開き、「練磨」でそれをアップデートし、「敬愛」の心で手を取り合って、この歴史と伝統を引き継ぎつつも、新しい芽を芽吹かせ、花をも咲かせることができるよう、この1年を皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。新しい学年で皆さん一人一人が、それぞれの力を充分に発揮し、学校教育目標「自主・練磨・敬愛」を更に深化させ、皆さん一人一人が輝いてほしいと願い式の言葉とします。

始業式 式の言葉(抜粋)